



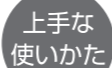
Tradcanvas VポールTeepee400-BB
No.71805573



注意

- 水辺には設営しない。(急な水かさの増量により、重大な事故のおそれ)
- ペグで地面に固定する。(テント・タープが風で飛ばされ、けがのおそれ)
- ランタンは電池式以外は使用しない。(不完全燃焼による事故のおそれ)

- 強風時は、ランタンを吊さない。(落下によるけがのおそれ)
- ランタンフックに、1kg以上の物を吊さない。(落下によるけがのおそれ)



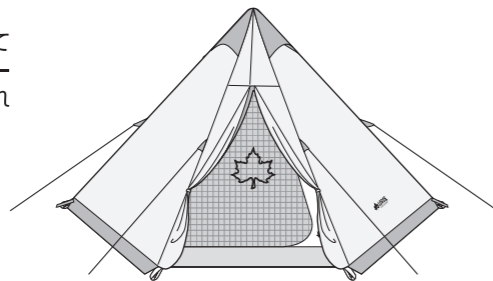
上手な
使いかた

- 内側がコーティングされているため、水に濡らしたり、直射日光が当たったりしないようにしてください。
- お手入れ時、ベンジンやシンナーは使用しないでください。

- ランタンハンドルの形状により、S字フックなどの取り付けが必要な場合もあります。
- 付属のハンマーはサービス品のため、別売品のご使用をおすすめします。

設営・取扱説明書

当設営・取扱説明書、製品に縫製されているケアラベル、付属のテントオーナーズマニュアル、パッケージ上に記載されている注意事項をよくお読みください。



部品構成表 ()は素材

フライシート×1 (ポリエステル)	インナーテント×1 (ポリエステル)	フレーム×1 (スチール) (6節)	ジョイント付きフレーム×1 (スチール) (7節)
ペグ×18 (スチール)	ロープ 2.5M×6 (PP) ※装着済み	ハンマー×1 (スチール) ※サービス品	

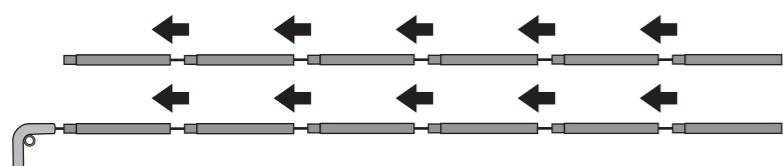
設営方法

- 設営は2人以上で行ってください。
- 風向き、日当たり、水はけなどを考慮して設営位置を決めてください。
- フライシートのみ設営して、日除けとして使用できます。

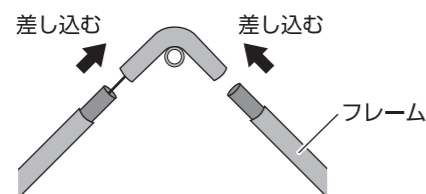
1 フレームとジョイントを連結して組み立てる

- フレーム、ジョイント付きフレーム

差し込む(5か所)



- ジョイント

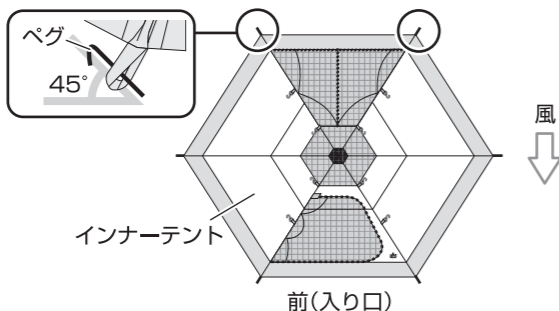


2 インナーテントを広げて、ペグで固定する

- ペグは、まず2か所のみ打ち込む。

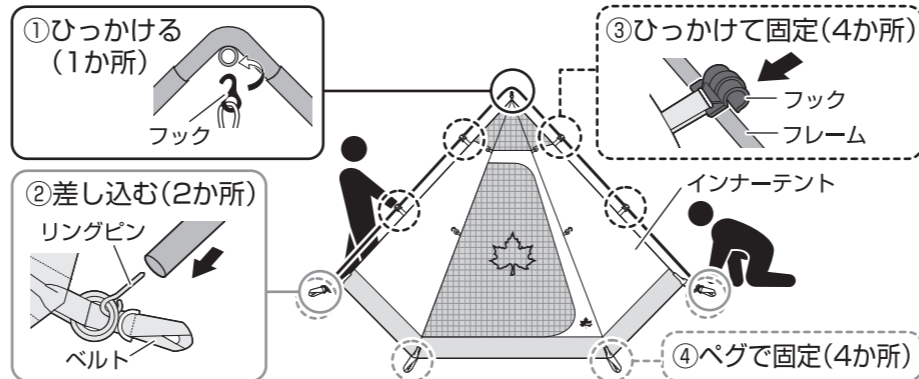
Point

- 入り口が風下になるようにしてください。
- ロゴマークがある方が前(入り口)です。



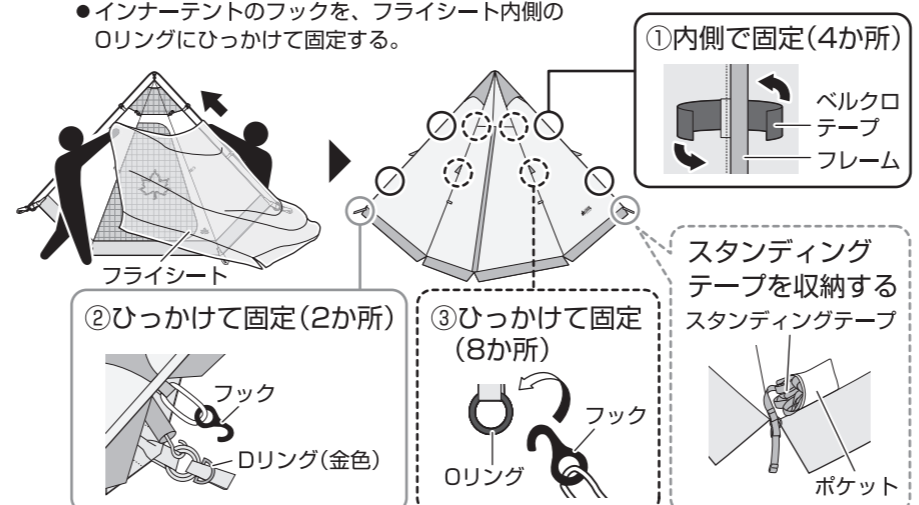
3 インナーテントの頂点をジョイントにひっかけて立ち上げ、フレーム先端にリングピンを差し込む

- 残りの4か所をペグで固定する。※その際、別の1人がフレームを支えてください。



4 フライシートをインナーテントの側面からかぶせる

- スタンディングテープは外しておく。
- 内側をベルクロテープで固定する。
- フライシート左右のフックを、Dリング(金色)にひっかけて固定する。
- インナーテントのフックを、フライシート内側のOリングにひっかけて固定する。



- ※フライシート左右のリングピンは使用しません。(フライシートのみを設営する場合に使用)
- ※フライシートが途中でひっかかる場合は、フレームを傾け、フライシートをかぶせてから立ち上げてください。

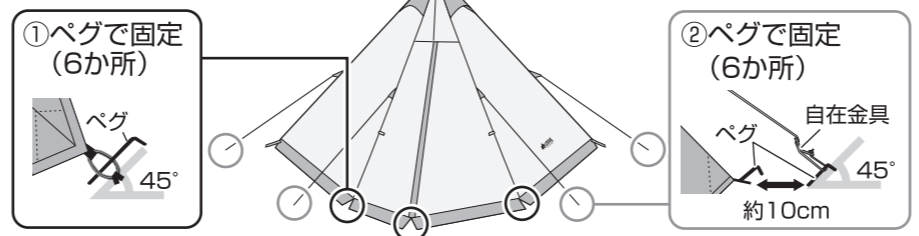
5 ペグで地面に固定する

- ペグは12か所打ち込む。



注意

- たるみがないようにする。(テントが風で飛ばされ、けがのおそれ)

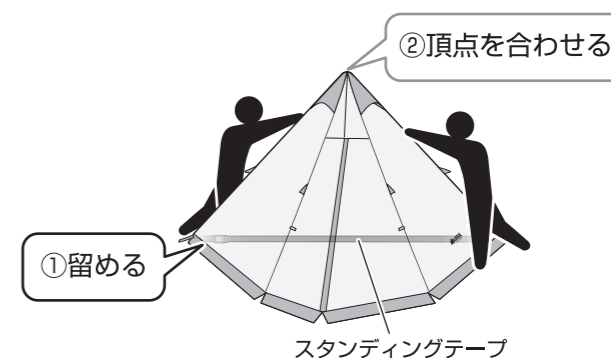


フライシートのみを設営する場合

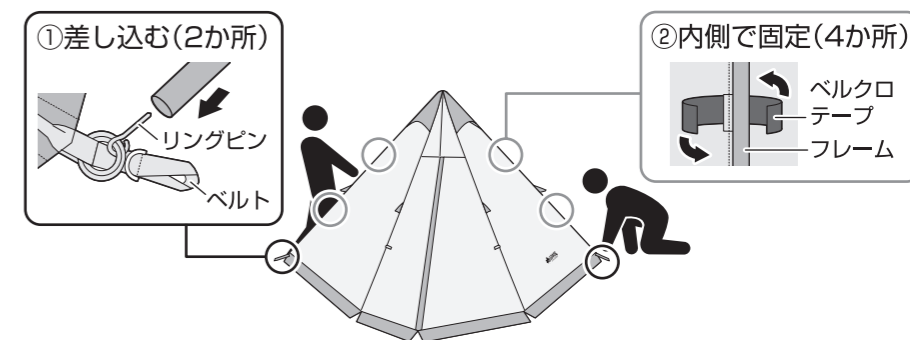
1 フレームとジョイントを連結して組み立てる

2 フライシートをかぶせて、フレームを立ち上げる

- スタンディングテープを留める。

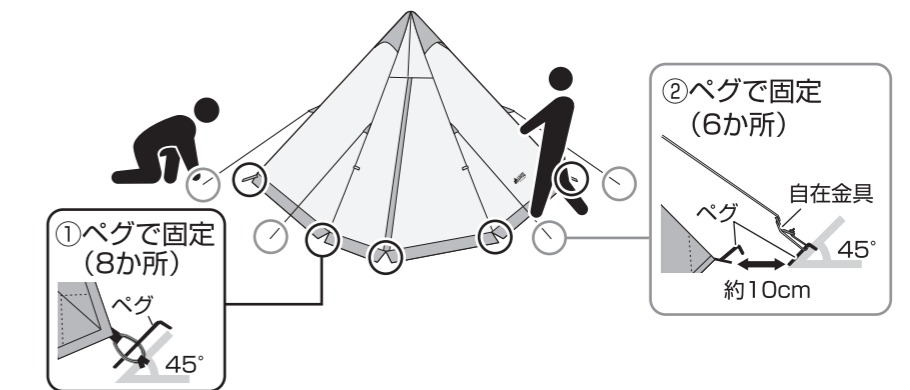


3 リングピンを差し込み、内側をベルクロテープで固定する



4 ペグで地面に固定する

- ペグは14か所打ち込む。



- 廃棄は、お住まいの地域のご分別方法にしたがってください。
- 製品の仕様は予告なく変更する場合があります。

Designed by LOGOS CORPORATION 〒559-0025 大阪市住之江区平林南2-11-13
お客様専用回線 ☎0120-654-219 (受付時間: 平日10時~17時迄)
発売元 株式会社 ロゴスコーポレーション ■ホームページ/ www.logos.ne.jp
■全国キャンプ場の空き情報/ www.campjo.com